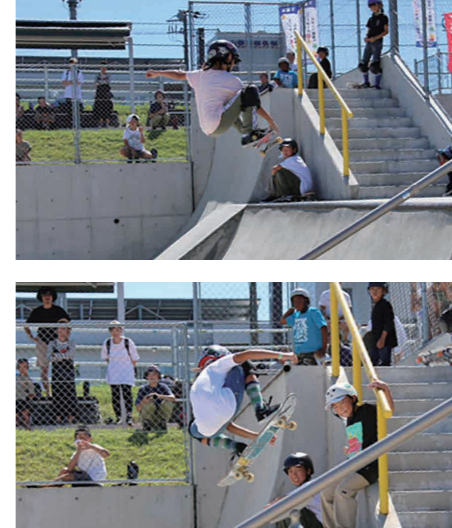
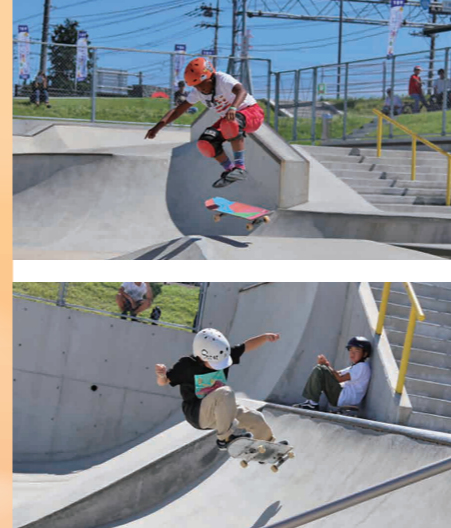




## フォトレポート

# 2019 中学校体育祭

9月7日に各中学校で体育祭が開催されました。下妻中学校では新たに整備されたグラウンドで、初めての体育祭が行われました。元気づけたい子どもたちの姿に、会場からは惜しみない拍手や声援が送られていました。



## 巧みにボードを滑らせ 技競う

### 第1回スケートボード下妻市長杯 ～いきいき茨城ゆめ国体2019開催記念大会～ 9月15日

9月15日、「Waiwaiドームしもつま」のスケートボードパーク「B.E. step125-shimotsuma-」で「第1回スケートボード下妻市長杯」が開催され、県内外から3クラス21人が出場。選手たちが巧みにボードを滑らせ、スピードと高さのある技を披露すると、MCの解説が入り、会場は盛り上がりしていました。

大会当日のWaiwaiドームでは、しもつま3高主催の「Shimotsuma Street Fes」も開催され、手作り小物、食べ物などの販売やダンスパフォーマンスなども行われ、スケートボード大会とともに新たなまちのにぎわいを創出しました。



トニーさん(左)の伴奏で歌う碧梨夫人

9月7日、「Shimotsuma・JazzNight2019」が千代川公民館と広場で開催され、市内外から約300人が集まり美しく力強い音色や歌で秋の夜をゆったりと過ごしていました。

今年で3回目となるジャズライブは、屋内と屋外の2ステージで行われ、4組のジャズ演奏家たちがステージを変えながらジャズを披露。会場では、ビールなどのドリンクと軽食が販売され、来場者たちは一流のジャズといっしょに楽しんでいました。ライブのトリは「カウントベイシーオーケストラ」第5代ピアニストのトニー・サグズさんたちの「トニー・サグズピアノトリオwithVocal」が飾り、会場を沸かせていました。

Shimotsuma・JazzNight2019 9月7日



松明を掲げ練り歩く白装束姿の若者

大宝八幡宮で9月12・14日の夜、炎の奇祭「タバカ祭」が行われました。

祭は、応安3(1370)年に同敷地内に出火した際、畳と鍋蓋を使って火を消し止めたという故事を戯曲化して受け継がれてきました。「タバカ」の由来は祭りの中で大たいまつを囲んで畳と鍋蓋を勢いよく石畳に叩きつけた時の「バタン、バタン」という音から起こったと伝えられています。

境内には市内外からの参拝客やアマチュアカメラマンが集まり、畳やたいまつを燃やした白装束の若者が走り回ると、子どもたちは歓声をあげながら逃げ回っていました。筑西市から来た70代の女性は「燃える炎の迫力が凄。帰ってから撮った写真を見るのが楽しみ」と話してくれました。

引き継がれる伝統 炎の奇祭 大宝八幡宮「タバカ祭」9月12日・14日



秋の山野草を楽しむ来場者

世界三大紅葉のニシキギヤスキ、段菊のほか、赤い彼岸花、秋の七草で黄色の花を咲かせるオミナエシなど約350種類400鉢を展示した「秋の山野草展」が9月27～29日の3日間、小貝川ふれあい公園ネイチャーセンターで開催されました。丹念に育てられた鉢植えは、下妻市自然愛護協会の会員20名が出展したもの。来場者は鉢植えに顔を近づけて鑑賞するなど、鉢の中に凝縮された自然の美しさに見入っていました。

春の山野草展にも来場したという、つくば市の70代女性は「秋の山野草も豊富な展示で楽しい。ムラサキシキブの紫色の実があざやか」とずらりと並ぶ鉢植えを鑑賞していました。

会員が育てた400点凝縮された自然美 秋の山野草展 9月27日～29日



交通安全をドライバーに呼び掛けました

9月20日、午前7時30分から市内本宿交差点と宗道十字路の2カ所で、秋の全国交通安全運動に伴う街頭キャンペーンが行われました。

この街頭キャンペーンは、9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されることに先立ち行われたもので、下妻警察署の協力のもと、市内交通団体などの関係者約110人が参加。本宿交差点では、下妻二高生徒会10人がドライバーに啓発品を手渡ししながら、交通安全を呼び掛けました。

下妻二高3年生で生徒会長を務める中山采音さんからは「譲り合いの心を持ちながら、交通ルールを守り事故のない社会になってほしいです」と力強い決意表明がありました。

事故にあわない、おこさない! 秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン 9月20日